

経営比較分析表（令和2年度決算）

宮城県涌谷町 涌谷町国民健康保険病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	100床以上～200床未満	自治体職員
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	12	-	ド訓	救臨輸
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
15,548	8,569	第2種該当	-	10：1

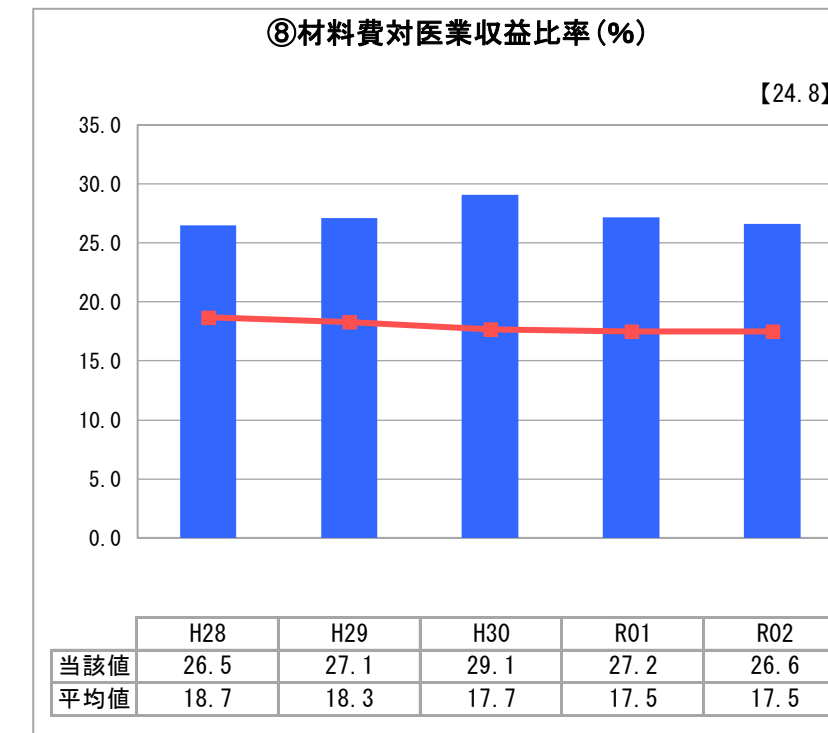
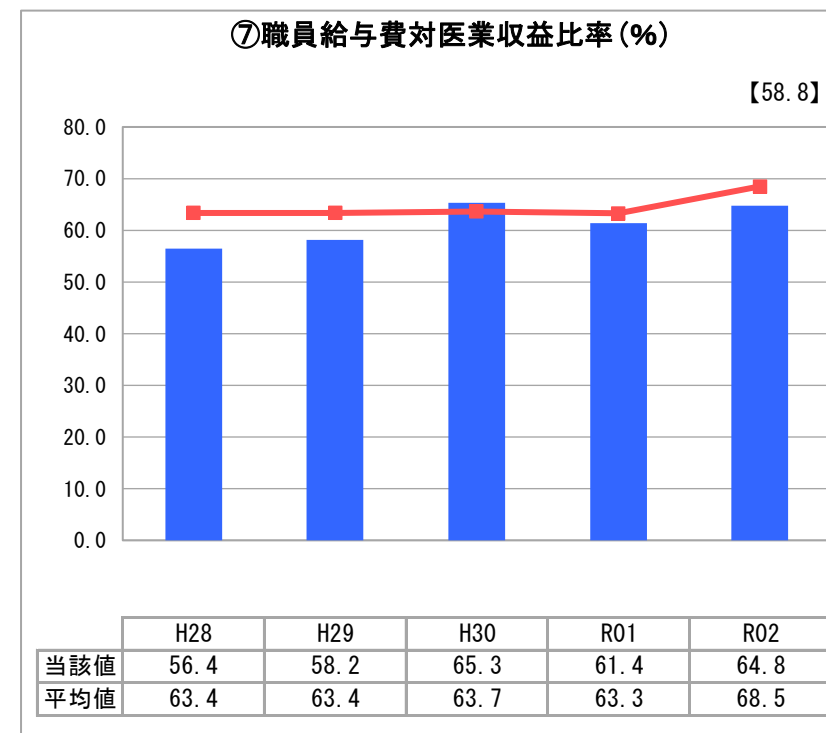
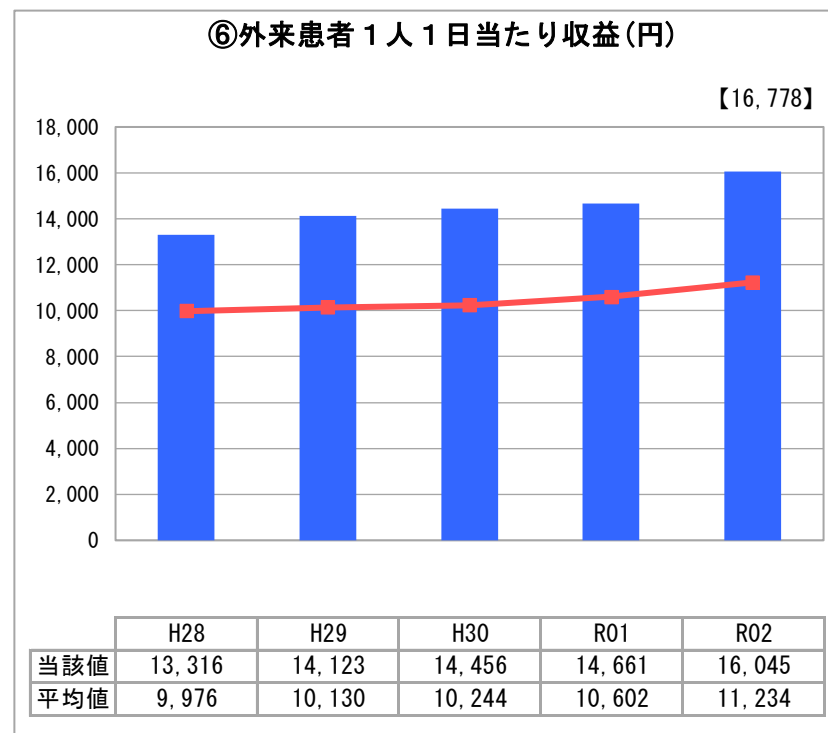
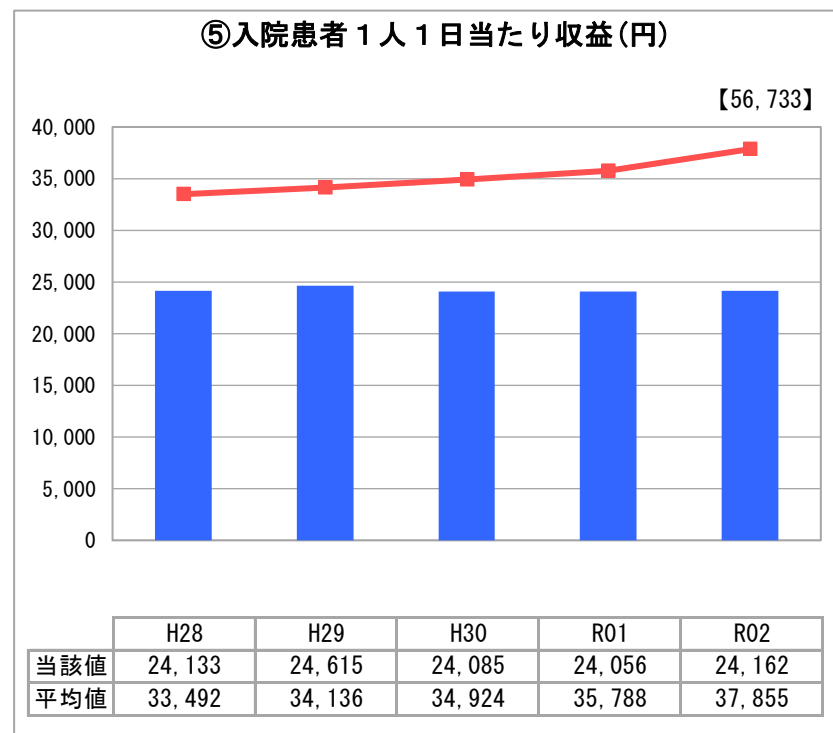
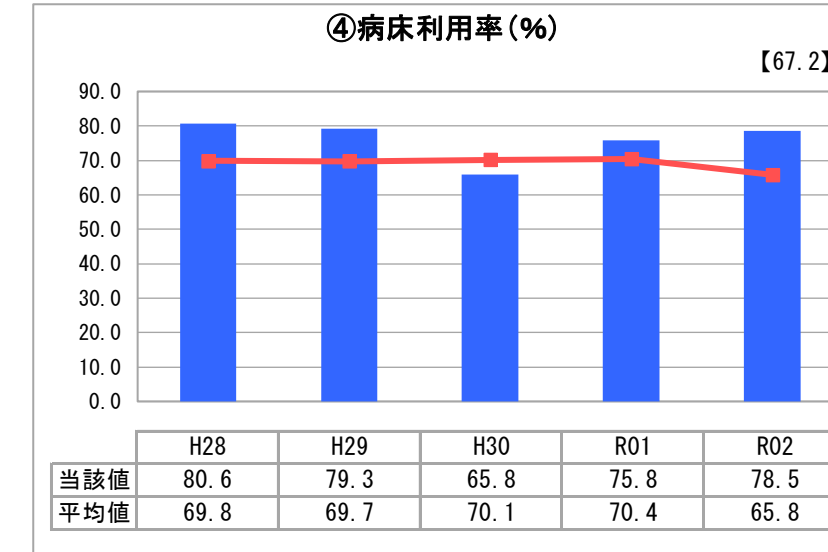
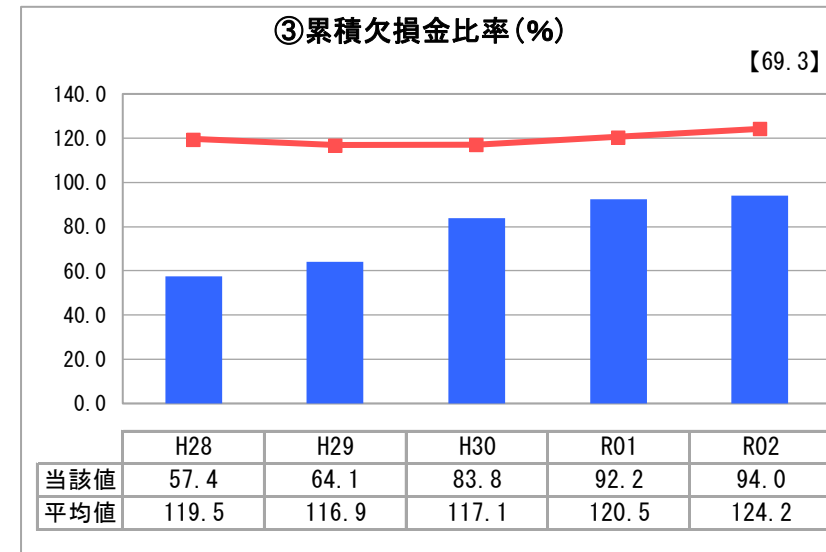
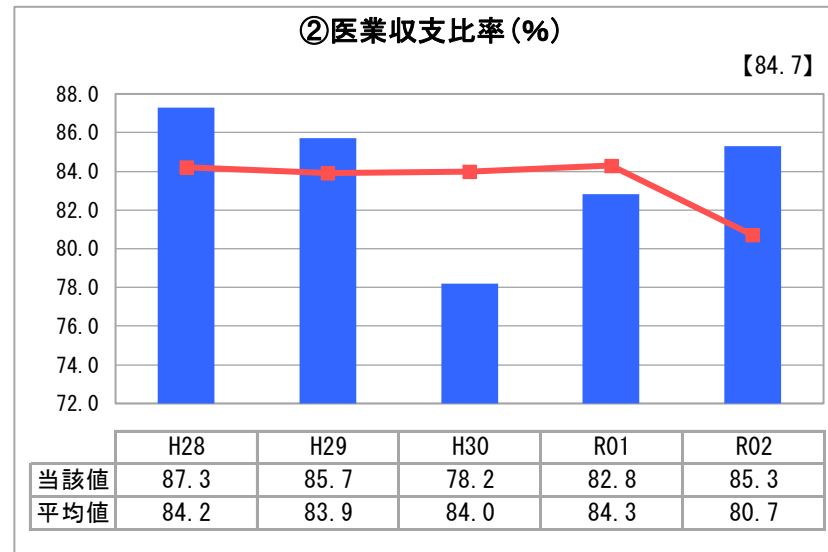
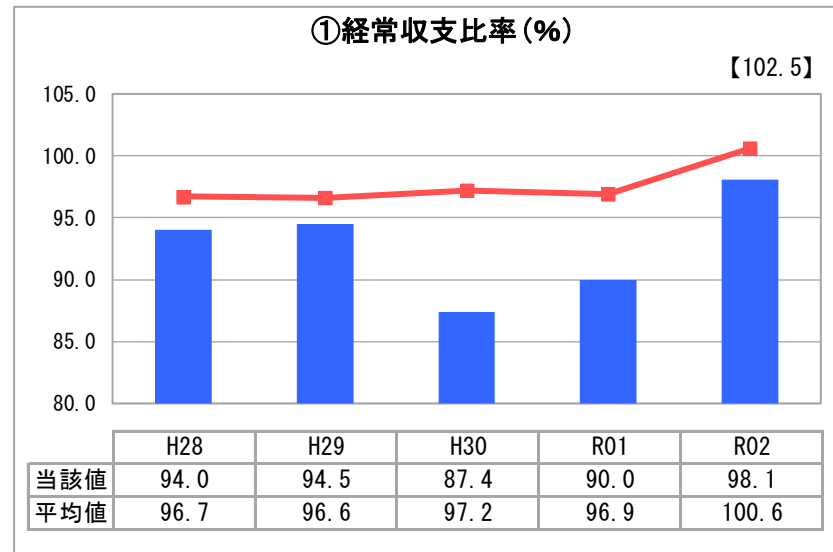
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輸…病院群輪番制病院

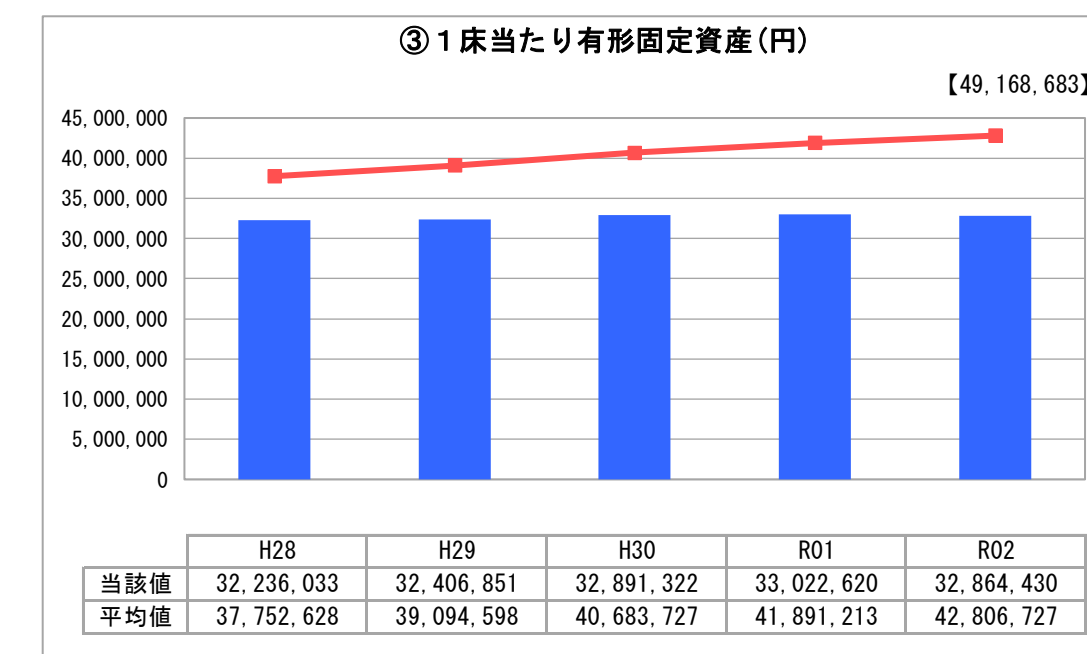
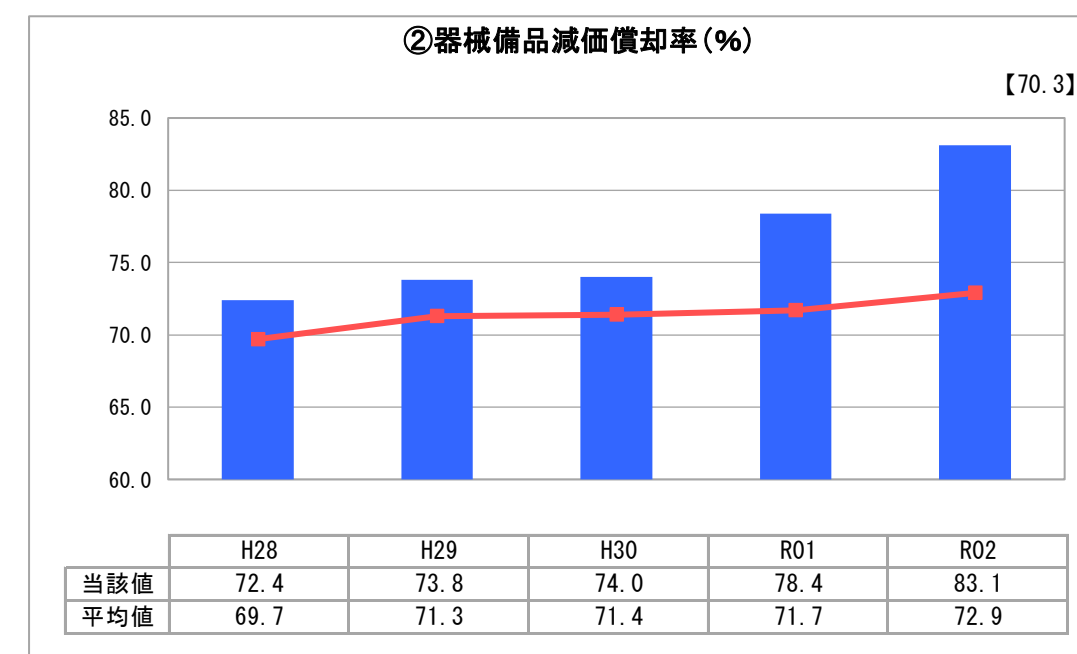
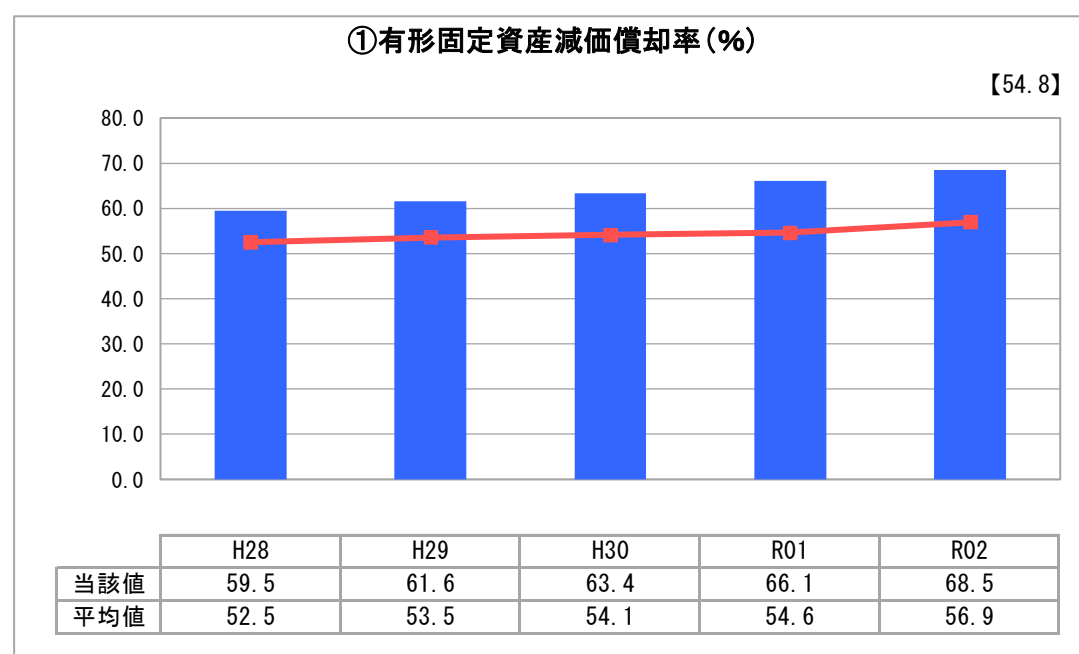
許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
80	41	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	121
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
76	38	114

グラフ凡例	
■	当該病院値（当該値）
—	類似病院平均値（平均値）
[]	令和2年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

再編・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-
年度	年度	年度

I 地域において担っている役割

町立の病院として、一次・二次医療（急性期の一応患者（内科疾患）や在宅療養患者の受入、医療依存度の高い患者の在宅復帰支援、急性期病院からの受入）の提供、救急告示病院として24時間体制で可能な限り患者の受入を行ってきた。また、併設する老人保健施設や訪問看護ステーションとの連携を図り、切れ目のない支援を提供し、地域医療の中心的な役割を担っている。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

令和2年度は、昨年度に引き続き収支状況を改善すべく、病院事業における中期経営計画に基づく運営を目指し、経営改善に取り組んだ。過年度の課題であった医師の確保として整形外科医1名・内科医1名の採用により、入院患者の増加や病床利用率が上昇したため、収益が増加した。また、不採算部門の整理などの医局の立て直しや意識改革を積極的に実施したことにより病床利用率の維持に繋がった。そのため、経常収支比率及び医業収支比率においては、前年度から改善しているものの、累積欠損金比率が上昇していることから厳しい経営状況であることは変わらなない。入院患者の1人1日当たり収益は、前年度とほぼ同額となっている一方、外来患者の1人1日当たり収益は前年度より増加した。要因としては、新型コロナウイルスの影響により、受診控えによる患者数の減少や長期処方によるものと考えられる。職員給与対医業収益は、職員数の増加に伴い、前年度と比べ3.4%増加した高い数値となっているため、現状に見合った人員配置等を引き続き検討していく。材料費対医業収益比率は、前年度に引き続き在庫管理の徹底と購入額の削減を行い、費用の抑制に努めたが、類似団体や全国平均を上回る状況が続いている。

2. 老朽化の状況について

全体的に類似団体や全国平均を上回る高い数値で推移している。設備は建物が開設から30年を経過しているため、不具合が発生する頻度は高まっている。器械備品（主に医療機器）の多くは耐用年数を超え、保守の延長などを行いながら修繕で対応しているケースが多いため、設備と備品の両方で老朽化が進んでいることは前年度と変わっていないのが現状である。設備は現状維持ができるよう修繕で対応しているが、今後は根本的な設備更新を計画的に進めていく必要がある。特に空調関係の修繕が多く発生していることから、今後の医療提供に影響を及ぼすことがないように対応していく。医療機器については、年度毎に計画を立てて更新を行う予定ではあるが、費用対効果を見ながらリースでの更新も検討する。財源についてはいずれも企業債を発行し、補助金や交付金での対応も行う。

全体総括

令和2年度は全体的に前年度よりも収益増加により数値が上昇し、改善傾向にあるものの、厳しい経営状況が続いている。しかし経営の健全化に向けた取り組みも前年度から継続しており、医師及び職員の意識改革により収益の増加に効果として現れていることから、引き続き収支の改善に全力で取り組んでいく。また、施設設備や器械備品の老朽化は引き続き課題として残っているが、経営の安定化を図る上で重要な事項であるため、医療の質の低下や運営に影響が及ぶことのないよう、徹底した維持管理を行っていく。

※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。